

令和4年度地域振興研究助成事業 助成決定研究一覧

NO	研究機関名	代表者	研究代表者	研究テーマ名	研究趣旨
1	AIO (Art Initiative Okinawa)	代表 スプリー・テイトウス	スプリー・テイトウス	研究分野4:教育・交流・人材育成関係 基本テーマ①地域における教育基盤構築・人材育成のあり方 副題 新しい学びの環境構成ー地域資源を活かしたアートプロジェクトによる教育実践 ※継続研究コース(2年度目)	子ども一人ひとりが自らの課題として、持続可能な社会づくりにつなげていく力を育むためには、主体性と創造性を育む必要がある。社会では主体性と創造性が育まれた人間活動に芸術がある。芸術は、我々が抱えている複雑な社会問題・環境問題等に対して主体性と創造性を用いて作品制作を行い、問題を読み解く際のイニシアティブをとっている。2年目の研究では、沖縄の子ども達や大人たちに、地域資源を活用し、より豊かで創造的な学習環境を提供するためのモデルを開発したいと考えている。
2	学校法人 沖縄キリスト教学院大学	理事長 伊波 美智子	照屋 建太	研究分野4:教育・交流・人材育成関係 基本テーマ①地域における教育基盤構築・人材育成のあり方 副題 沖縄県における学童期の子どもの居場所に関する調査研究 ※単年度研究コース	本研究は、沖縄県における放課後児童クラブの全体像・児童家庭福祉施策における位置づけ等、運営状況等を含め、運営者側から見た本県における学童保育の現状と課題、学齢期の児童の安心・安全な居場所の確保、保護者の子育て支援等、子どもと家庭の福祉向上について検討する調査研究を行うことを目的とする。
3	沖縄ICTキッズプロジェクト	代表 財津 英郎	財津 英郎	研究分野4:教育・交流・人材育成関係 基本テーマ①地域における教育基盤構築・人材育成のあり方 副題 ドローンを活用したプログラミング教育の学習効果研究 ※継続研究コース(1年度目)	2020年より始まった初等教育に於るプログラミング教育の必修化に対して教育用ドローンを活用した効果的なプログラミング教材の実証実験に於る学習効果の測定・研究。 2021年度に浦添市教育委員会、浦添市教育研究所の協力で浦添市内の小学校7校でドローンプログラミングの出前講座を教育事業として計画、全6年生の参加によりドローンプログラミング学習の相対的な学習効果を検証したいと考えています。 プログラミング学習未経験の子ども達に短時間でプログラミングの楽しさを体験してもらい、協働学習による体験学習で論理的思考(プログラミング的思考)の基礎を自然に身に付け、中学校・高等学校で必修教科となる「情報」科目にスムーズに適應できるスキルを身に付けることが出来る事を目標としています。 この出前講座事業において初めてプログラミング学習に触れる子ども達の学習効果をICT教育の専門家により測定し、その有効性を研究・検証し、沖縄県に於ける初めて触れるプログラミング学習のロールモデルとしての確立を目指したい。